

令和元(平成 31)年度 学校マネジメントシート

学校名 (木本高等学校 定時制)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒を育成します。 ○地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、「地域に信頼される学校」をめざします。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○自分への自信と誇り、他者への思いやりの心と規範意識を持ち、学習に積極的に取り組む生徒。 ○地域に誇りや愛着を持ち、地域に信頼され、地域に貢献する力を持った生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す学校像実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ○生徒の状況を理解し、それぞれの生徒に合わせた一人ひとりを大切にする指導をする教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・保護者：仕事や家庭と学校生活を両立しながら安心して学習し、学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を得たい。 ○地域社会：すべての生徒に安心して学べる場を確保し、地域に貢献する人材を育ててほしい。 ○進路先：基礎学力、コミュニケーション力、自主性、規範意識を持った人材を育ててほしい。 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者：学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を得たい。 ○中学校：多様な生徒の学びの場として、一人ひとりを大切にする教育を行ってほしい。 ○地域社会：すべての生徒の学ぶ場を確保する意味でも、教育活動を継続してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ○保護者：緊密な連絡、協力の体制を作ってもらいたい。 ○中学校：生徒に関する情報提供等、指導への支援、協力をしてほしい。 ○地域社会：外部講師、情報提供等、教育活動への支援、協力をしてほしい。
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりに合わせた、丁寧できめ細かい指導を重ね、すべての生徒の力をのばしてほしい。 ・すべての生徒の学ぶ場を確保する意味からも、入学希望者の開拓と学校存続に取り組んでほしい。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>様々な課題、背景をもつ生徒が学んでおり、生徒一人ひとりに合わせた丁寧できめ細かい指導が大切である。また、生徒の約 1/3 が転編入であり、在学期間が短く、学校への帰属意識や仲間意識が低い生徒も多い。</p> <p>学習・修学意欲の喚起、基礎学力定着とともに、安全安心の学習環境の確保と集団への帰属意識・仲間づくりの取組もすすめる必要がある。</p>	
	学校運営等	<p>生徒、教職員ともに少人数で、生徒一人ひとりに合わせた教育活動を行いやすいが、集団として活動し社会性を育むには工夫が必要である。また、指導等が教職員個々の経験や力量に頼る部分が多く、指導を全体で統一・連携する意識と外部からの情報を積極的に取り入れ改善をすすめる意識を強く持つことが必要である。</p>	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲・修学意欲を高め、基礎学力の定着を図り、生徒の進路希望実現を目指します。 ○学校や社会で生活するために大切な規範意識と社会性を育みます。 ○様々な教育活動を通して、本校への帰属意識と仲間意識が醸成されるよう働きかけます。
------	---

学習指導の充実	【教科等指導】 (1) 生徒の基礎学力の定着のため、教育課程や授業内容の工夫と改善をはかり、生徒に適切な学習目標を設定させ、目標達成のための指導を行います。 (取組状況の指標：公開授業、教員間の授業相互評価の実施) (2) 単位制・定通併修などの制度について、生徒・保護者への周知をはかります。 (取組状況の指標：生徒・保護者向けアンケートの実施) (3) 統一した授業改善の取組を行います。 (取組状況の指標：統一テーマに沿って全教職員が取り組み、その成果を全教職員で共有。)	・定時制生徒にとっての基礎学力を意識した目標を設定し、目標を生徒と共有し授業を行っている。 ・制度の理解も進み、学校外での単位修得を目指す生徒も増え、卒業を目標とする学校生活を送る原動力となっている。	
帰属意識の育成	【教科等指導】 (1) 総合的な学習の時間等や学校行事等を活用し、本校生徒としての誇りを育てます。 (取組状況の指標：生徒の参加数が増加する。) (2) 長期休業期間に進学指導等の教育活動を実施します。 (取組状況の指標：進路別の対策授業の実施)	生徒数は少ないが、ほとんど欠席がなくなった。	
改善課題			
命を大切にする教育・キャリア教育・学習指導の充実など、落ち着いた雰囲気の中行えているが、さらなる充実を図っていく。			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
教職員の資質向上・チームワークの向上	(1) 法令遵守、信頼向上の意識を高めます。 (取組状況の指標：法令遵守の校内研修を年3回以上実施。) (取組状況の指標：毎回の職員会議で校外の事例を共有。) (2) 教員間の情報交換会を実施します。 (取組状況の指標：毎日の打合せ、職員会議等で情報交換を実施。)	・職員会議ごとに事例を共有した。 ・毎日情報交換を実施した。	◎
地域との信頼関係の深化	(1) 中学校との連携を深め、地域へ積極的に情報発信します。 (取組状況の指標：新規入学生の出身中学訪問の実施。) (取組状況の指標：地元紙への情報提供。) (取組状況の指標：授業公開、学校見学会の実施。)	・希望者のいる中学校の進路説明会に出席をし、保護者とも面談を行った。	
保護者との連携、学校の帰属意識の育成	【生徒・保護者面談】 (1) 計画的に保護者(生徒)面談を実施します。 (取組状況の指標：担任による保護者(生徒)面談の実施)	・年6回実施した。	

働きやすい職場環境	<p>(1) 業務の効率化を図り、休暇取得を促進し、総勤務時間を縮減します。</p> <p>(取組状況の指標：1人あたりの休暇取得1日/年増。)</p> <p>(取組状況の指標：時間外労働 1h/月・人(←20h/年・人)以内。)</p> <p>(取組状況の指標：60分以内に終了する会議の割合 100%。)</p>	<p>・2月現在 休暇:21.1日 (昨年度 22.7日)</p> <p>・全職員の時間外労働時間1時間以内</p> <p>・60分以内で会議すべて終了</p>	※
-----------	--	--	---

改善課題

昨年度に続き、教員定数の減少から一人ひとりの教職員の負担が増え、休暇取得が昨年を下回る結果になった。
教員定数を増やし、一人ひとりの教職員の負担を軽減していきたい。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりを大切にし、生徒個々の状況に適した指導をしてもらいたい。 ○地域の良さを知り、地域で活躍する意欲と力をもった生徒を育ててほしい。 ○体験型学習を取り入れることにより、生徒の能力を引き出してほしい。
---------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○本校生徒としての誇りを育み、就学意識と学習意欲を高める指導に取り組む。 ○生徒個々の状況把握に努め、それぞれの生徒の良さを引き出し伸ばす指導に取り組む。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校との連携をさらに深め、地域へ積極的に情報発信することで入学生を確保し教員定数を増やし、一人ひとりの負担を軽減していきたい。